

ご使用の前に……

よく読んで予測される事故を回避して、正しく安全にご使用ください。

⚠ 危険

この表示の記載内容を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険性が想定される内容を示しています。

- ① 洗浄や点検などで機械可動部に手などを入れる場合は、必ず電源を外した状態で行ってください。
- ② 通電中は端子部などに触れないでください。感電の恐れがあります。特に濡れた衣服や手で触ると危険です。
- ③ 機械の動作中はドラム内部への、身体や衣服などの巻き込みに注意してください。
- ④ 原子力発電・航空・鉄道・船舶・車両・医療機器などの人命や財産に多大な影響が予想される用途、及び食品・飲料などの用途には使用しないでください。
- ⑤ 防爆仕様ではないため、可燃性ガスなどの雰囲気では使用しないでください。
- ⑥ 分解・改造は誤動作・破損の原因となりますので行わないでください。
- ⑦ 本仕様書をよく読みご理解の上、ご使用ください。

⚠ 警告

この表示の記載内容を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う危険性が想定される内容を示しています。

- ① モータやブレーカなどの部位に直接水がかからないようにしてください。

⚠ 注意

この表示の記載内容を無視して誤った取扱をすると、物的損害(製品の故障など)が想定される内容を示しています。

- ① アースは必ず接地してください。
- ② チューブやホース内に圧力が残っている状態で、チューブやホースを取り外さないでください。チューブやホース内の残存物が急激に噴き出して非常に危険です。
- ③ チューブ・ホースなどは、ひび割れや変形などの異常がないことを点検してから使用してください。
- ④ 本機には緊急運転モード(EDM)が搭載されています。EDMとはインバータユニットが過負荷などの原因で動作不能となった時、一時的にポンプを動作させるもので、一次側電源電圧を直接モータに印加する動作モードです。そのため正転/逆転は主電源の三相配線により異なり、電源周波数に応じた定速運転となります。過負荷状態での長時間運転はモータ焼損などの機械的故障の原因となります。

仕 様

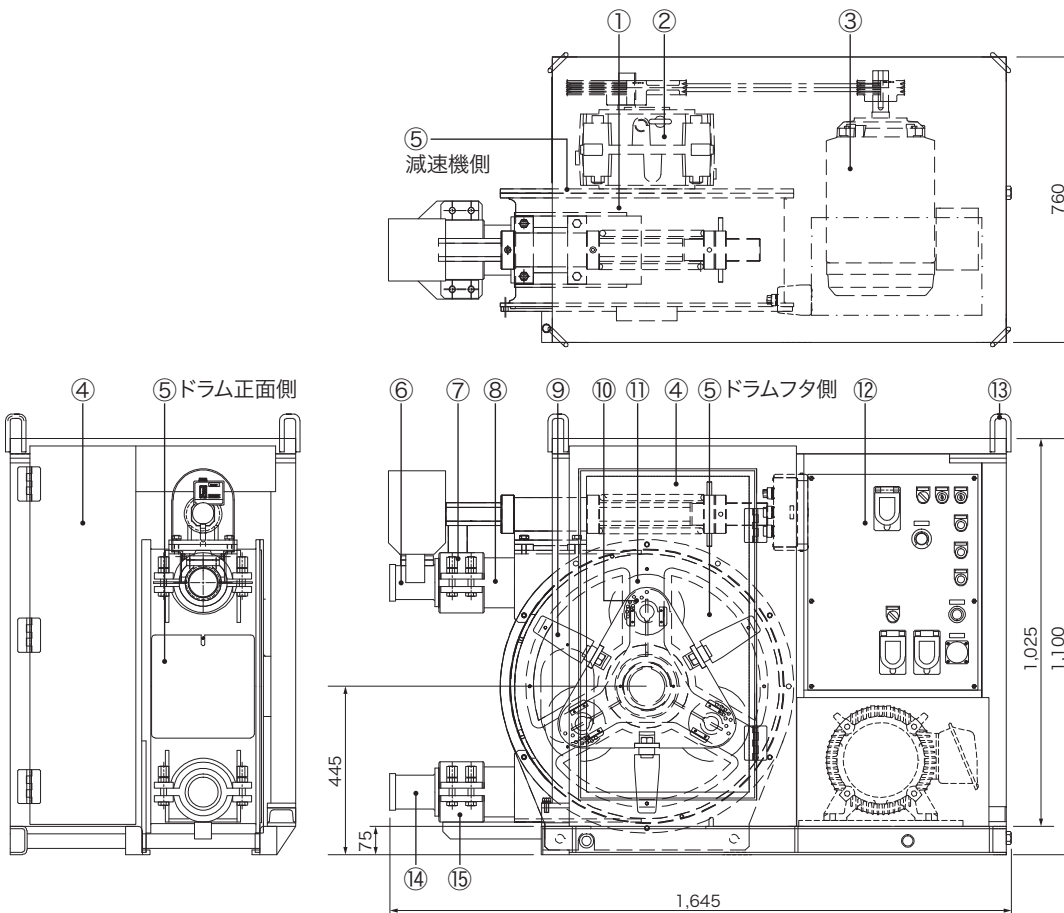
■ニューロータリーポンプ OKG-75ME 仕様表

吐出量	最小9.0~最大100.0L/分	電源電圧	三相AC200V
吐出圧	最大2.5MPa	定 格	インバータ出力定格 33.0A
ポンピングチューブ	OKASAN 75 (φ75×2,000mm)	寸 法	幅760×奥行1,645×高さ1,100mm
ローラー数	3	重 量	825kg
動 力	7.5kW-6P	対 応 骨 材	15mm以下
変速方式	インバータ変速		

商品改善のために、予告なく仕様を変更する場合があります。

■付属品 ●3点式リモコン RC-F-50M ●工具セットJ KG-J ●予備チューブ

■オプション ●ボリューム付3点式リモコン ●圧カスイッチ



■各部名称

- ①ドラム
- ②減速機
- ③モータ
- ④点検トビラ×2
- ⑤点検マド
(ドラムフタ側×3
減速機側×1
ドラム正面側×1)
- ⑥圧力計一体型吐出カップリング
- ⑦吐出バンド
- ⑧ポンピングチューブ
- ⑨ガイドローラー x6
- ⑩クリアランス調整プレート×3
- ⑪主ローラー x3
- ⑫制御盤
- ⑬吊りフック×4
- ⑭吸込カップリング
- ⑮吸込バンド

クリアランス調整プレートの調整方法

チューブの内面磨耗などによりクリアランスの調整が必要な際に、クリアランス調整プレートでクリアランス幅を調整します。

●調整方法

- 1 ポンピングチューブを外し、ポンプを動かして減速機側点検マドの位置に主ローラーを合わせます。
※手などを巻き込まないように注意してください。
※吐出量調整ボリュームを左に回し、回転速度を最低にして位置合わせを行ってください。
- 2 減速機側点検マドとドラム正面側点検マドを外してください。クリアランス調整プレートが見えていない場合は、再度位置を調整してください。
- 3 クリアランス調整プレートの反対側の締付ナットを緩めます。
- 4 クリアランス位置決めボルトを外し、新たな位置決め穴で固定します。

5 締付ナットを締めます。

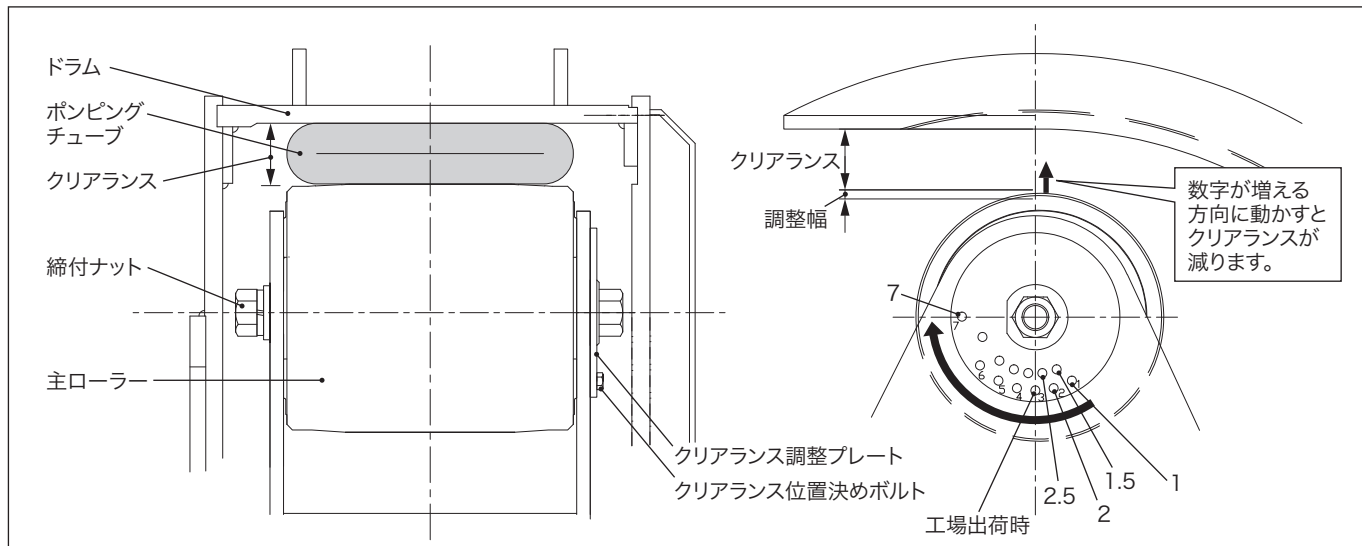
6 もう片方のクリアランス調整プレートも同様に調整します。

数字が増加する量だけクリアランス量が減少します。

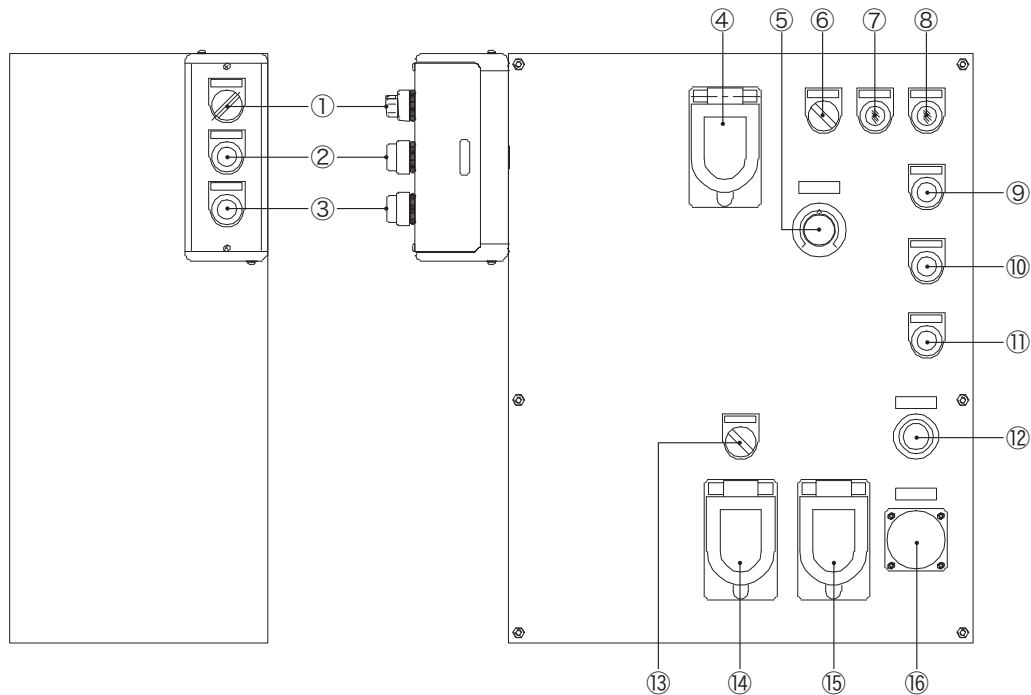
例) ポンピングチューブの磨耗が進み、逆流量が増え、吐出量が減少してきた時は……

位置決め穴を2から2.5に変更→クリアランス量が0.5mm減少

- プレート外側の穴は1mmずつ、内側の穴は0.5mmずつ変化します。
- 極端にクリアランス量を減少させると、モータの負荷が大きくなり、インバータがエラーを出しやすくなります。0.5ずつ調整してください。
- 工場出荷時は「3」です。
- チューブ交換時は「3」に戻して交換作業を行ってください。



各部名称(制御盤)



■各部名称

①通常運転／緊急運転切換スイッチ

緊急運転(EDM)とはインバータユニットが過負荷などの原因で動作不能となった時、一時的にポンプを動作させるもので、一次側電源電圧を直接モータに印加する動作モードです。そのため主電源の三相配線が逆相の場合、②③は逆動作になります。また運転速度は電源周波数に応じた定速運転となります。過負荷状態での長時間運転はモータ焼損などの機械的故障の原因となります。

②緊急運転用 正転スイッチ

③緊急運転用 逆転スイッチ

④インバータ表示確認用マド

⑤吐出量調整ボリューム

吐出量調整機能付きリモコンを使用する場合は、ボリューム位置を最小にしてください。最小位置ではリモコン側の調整機能が有効となります。最小位置から右に回すとリモコンの調整機能は無効となり、⑤のボリューム位置で運転します。

⑥本体／リモコン切換スイッチ

リモコンを使用する場合はリモコン側にします。リモコン側にすると⑫にリモコンを接続しないと、⑨⑩⑪の各スイッチは無効となります。⑫にリモコンを接続すると、⑨⑩⑪の各スイッチとリモコンスイッチの両方が有効になります。

⑦電源入りランプ

⑧インバータ異常ランプ

インバータユニットのエラー発生時に点灯します。エラーのリセットは⑪で行います。

⑨正転スイッチ

⑩逆転スイッチ

⑪停止・リセットスイッチ

⑫リモコンコンセント

⑬圧カスイッチ 有効／無効切換スイッチ

⑭に圧カスイッチを接続する場合は有効にしてください。有効で圧カスイッチの接続がない場合、ポンプは動作しません。

⑭圧カスイッチ用コンセント

⑮ポンプ電源スイッチ

⑯電源コンセント

三相AC200V 1.5kW以下

ご注意

●三相200V配線について

本機は(R・赤)(S・白)(T・黒)(アース・緑)で色別しています。UVW表記の場合は(U・赤)(V・白)(W・黒)(アース・緑)となります。

●正相／逆相運転について

インバータユニットを介した通常運転では、正相／逆相は問題になりません。ただし緊急運転の場合、逆相接続では正転、逆転がそれぞれ反対の動作になります。その場合は1次側配線の(R・赤)と(T・黒)を入れ換えてください。



『練って』『送る』機械を創る

岡三機工株式会社

<http://www.okasankikou.co.jp>

総務・経理 〒541-0052 大阪市中央区安土町3丁目4-5 本丸田ビル703 ☎06(6227)8001

川崎営業所 〒210-0803 神奈川県川崎市川崎区川中島2丁目6-3 ☎044(266)2771

名古屋営業所 〒476-0006 愛知県東海市浅山3丁目121 ☎052(604)0780

大阪営業所 〒573-0131 大阪府枚方市春日野2丁目4-37 ☎072(859)5911

福岡営業所 〒811-2317 福岡県糟屋郡粕屋町長者原東4-7-8 ☎092(938)7222

大阪工場 〒573-0131 大阪府枚方市春日野2丁目4-37 ☎072(859)5751